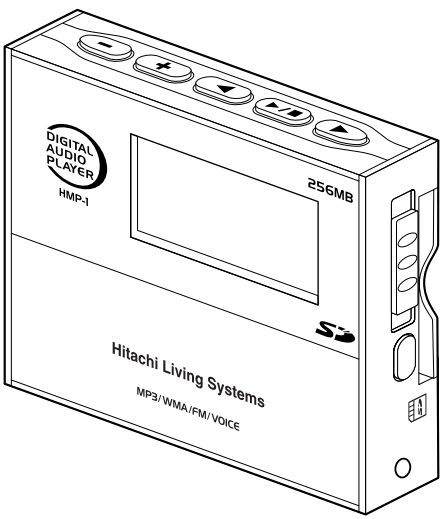
取扱説明書　　日立リビングサプライ

保証書付　保証書はこの取扱説明書の55ページについています。必ずご記入をお受けください。

デジタルオーディオプレーヤー

HMP-1形

このたびは、お買い上げいただき、ありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。



目　次

はじめに
安全上のご注意 ……3
使用上のご注意 ……7
HMP-1の主な特徴 ……9
付属品の確認 ……10
各部のなまえ ……11
お使いになる前に……12
　乾電池の入れ方/交換方法……12
　電池残量表示 ……13
　イヤホンを使用する……13
操作前に知っておいてほしいこと……14
　電源を入れる/切る……14
　モードを切り換える……15
　音量を調節する ……16
　ホールド機能……17
　再生できるデータ ……18

データ転送
パソコンに接続する……19
　Windows XP/2000/Me
　の場合……19
MP3/WMAを転送する……20
　Windows XP/2000/Me
　の場合……20
フォーマットする……21
フォルダについて……22
　内蔵メモリー……22
　SDメモリーカード……23
SDメモリーカードの取り付け・
取りはずし……24

操作方法
MP3/WMAを聞く……25
　曲情報……25
　再生・一時停止・停止する……26
　ファイル戻し、ファイル送りを
　する……27
声を録音/再生する……28
　ボイスモードについて……28
　レコーディング設定を確認する……29
　録音を開始する ……30
　録音を一時停止・終了する……30
　録音した音声を再生・一時停止・
　停止する……31
　レコーディング設定メニューに
　ついて……32
　レコーディング設定を変更する……33
FMラジオを聞く ……34
　FMラジオモードについて……34
　FMラジオを聞く ……35
　選局する……36
　プリセットする ……38
　ラジオの音声を録音する……39
設定を変更する ……40
　設定モードについて……40
　設定を変更する ……41
　各メニューの設定項目……42
　お買い上げ時の設定……43
ファイルを消去する……44
データ使用量・残量を確認する ……45

その他
故障かな？と思う前に……46
お手入れについて……50
主な仕様……51
お客さまご相談窓口……52
索引……53
保証とサービス ……55

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

安全のため必ずお守りください

■絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例

⚠	「注意（警告を含む）をうながす事項」を示します。
⃠	「してはいけない行為（禁止事項）」を示します。

本体について

⚠警告

■分解・改造しない

分解禁止

本機を分解、改造しないでください。
火災、感電の原因になります。内部の点検および修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

■運転中は使用しない

禁止

自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因になります。また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に十分にご注意ください。

■内部に水や異物を入れない、また風呂やシャワー室で使用しない

水場禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。
万一、水や異物が入ったときは、乾電池を抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。

■大音量で長時間続けて聞きすぎない

禁止

ヘッドホンやイヤホンで聞くときに耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがありますのでご注意ください。
また、突然大きな音が出て耳を痛めることがありますので、音量は徐々に上げるようご注意ください。

■極端な温度条件のもとでは使用しない

禁止

結露などによる火災や感電の原因になります。温度が5℃以下、または35℃以上の場所では、使用しないでください。

本体について

■置き場所に注意

禁止

湿気、ほこりの多い場所や、油煙、湯気が当たる場所に置かないでください。火災、感電の原因になります。また、窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など温度が高くなる場所に放置しないでください。火災、故障の原因になります。

⚠注意

■本体やUSB端子を布団などで覆った状態で使わない

禁止

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因になることがあります。

乾電池について

⚠警告

■乾電池使用上の注意

禁止

乾電池の使いかたを誤ると、電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。次のことをお守りください。

指示

- ●単4形アルカリ乾電池以外は使用しない。
- ●極性(＋と－)に注意し、表示通りに入れる。
- ●電池を充電、加熱、分解したり、火や水の中に投入しない。ショートさせない。金属物と一緒に持ち運んだり、保管しない。
- ●火のそばや直射日光の当たるところ、炎天下の車の中など、高温になる場所で使用または保管、放置しない。
- ●乳幼児の手の届くところに置かない。
- ●長期間(1ヵ月以上)使用しないときは、電池を取り出しておく。
- ●外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけたりしない。
- ●電池に強い衝撃を与えたり、乱暴に扱わない。

※ もし、液もれが起こったときは、電池ケースについた液をよくふき取ってから、新しい電池を入れてください。万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。皮膚に炎症などの症状がでたときは、医師に相談してください。

※ 万が一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

電池残量表示の目盛りがなくなったら

すぐに新しい乾電池に交換してください。

使用上のご注意

大切な録音や再生は事前に確認を

大切な録音や再生の場合は、正常に録音や再生ができることを確認してください。

著作権について

- ● 放送やCD、レコード、その他の録音物(ミュージックテープ、カラオケテープなど)の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- ● 従ってそれらから録音したデータを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、及び営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- ● 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他手続きについては、「日本音楽著作権協会」(JASRAC)におたずねください。(JASRAC 本部： TEL. 03-3481-2121)

その他のご注意

- ●本製品およびパソコンの不具合によってデータが破損、または消去された場合のデータの補償に対して、当社では一切の責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- ●本製品のご使用によって生じたその他の機器やソフトの損害に対して、当社では一切の責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- ●本製品のご使用、または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、中断を含む）に対して、当社では一切の責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

商標について

- Windowsは、Microsoft Windows operating systemの略称として表記しています。
- Windows、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- その他記載のシステム名、製品名および会社名は各開発メーカーの商標または登録商標です。

本書について

- 本書に記載している液晶画面の表示は、一部変形・省略しているものもあります。
- 本製品に関するお問い合わせ、およびサポート、カタログ掲載内容については国内限定とさせていただきます。
- 本書に記載の外観および仕様は、製品改良のために予告なく変更することがあります。

動作環境

- 本製品は以下のパソコン（OS）に対応しています。

  Windows　：Windows XP、2000、Me

  ※ 個人で作成したパソコンは、サポートしていません。

- 付属のUSBケーブルは、USB 2.0または1.1に対応しています。

HMP-1の主な特徴

デジタルオーディオプレイヤー

- MP3、WMA形式のデータファイルを再生できます。

SDメモリーカードスロット搭載

- SDメモリーカード（別売）を使用して、メモリー容量を拡張できます。
- SDメモリーカードは、8～512 MBまで対応しています。

USBフラッシュディスク機能

- 付属のUSBケーブルでパソコンに接続すると、音楽ファイルだけでなく、画像ファイルやその他のデータを内蔵メモリーやSDメモリーカードに保存できます。

FMラジオチューナー

- FMラジオチューナーを搭載し、チャンネルプリセット機能などの便利な機能で、気軽にFMラジオを楽しめます。また、FMラジオをWAV形式で録音できます。

ボイスレコーディング

- 内蔵マイクを使用して、気軽に録音を行えます。会議や家族への伝言メモなどをWAV形式で保存できます。

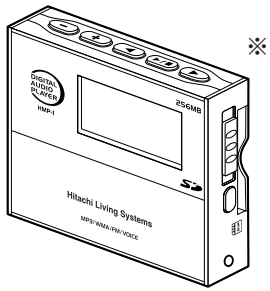
連続再生最長約13時間

- 単4アルカリ乾電池1本で、最長約13時間の連続再生が可能です。

付属品の確認

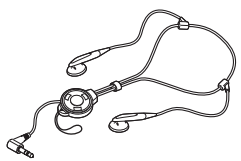
箱から出し、付属品がそろっているか確認してください。

● 本体 1

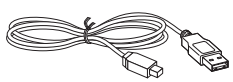


※ ご使用になる前に、液晶画面のフィルムをはずしてください。

● ネックストラップ付きイヤホン 1

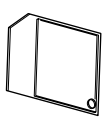


● USBケーブル（Version 2.0） 1



● 単4形アルカリ乾電池 1

● 保護カード 1



※ お買い上げ時はSDメモリーカードスロットに差し込まれています。

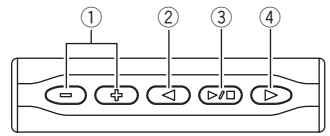
● ポーチ 1
● 基本操作ガイド 1
● 本書（保証書付） 1

各部のなまえ

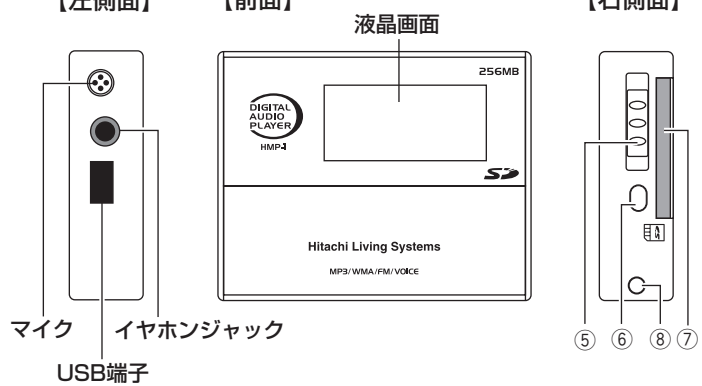
本体

【上面】

① 音量（−、＋）ボタン
② 早戻しボタン
③ 電源/再生/一時停止/停止ボタン
④ 早送りボタン



【左側面】 【前面】 【右側面】



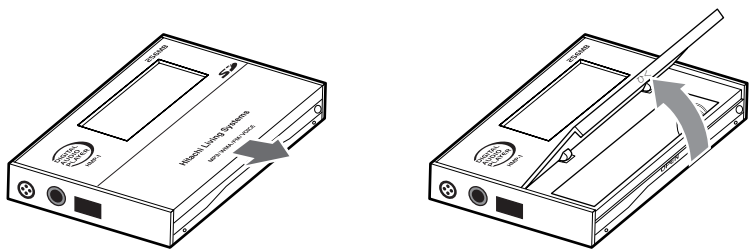
⑤ ホールド・録音モード切換スイッチ
⑥ モードボタン
⑦ SDメモリーカードスロット
⑧ ストラップ通し穴
※ 付属のネックストラップ付きイヤホンのフックを通してお使いください。

お使いになる前に

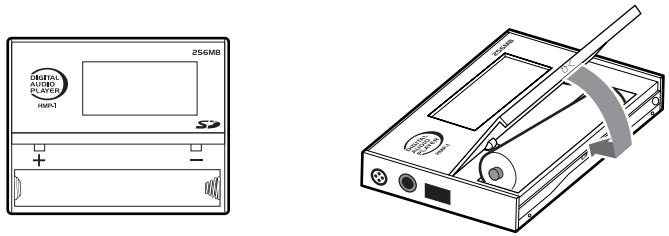
乾電池の入れ方／交換方法

電源を入れた状態で、乾電池の交換をしないでください。本体が故障したり、ファイルが壊れるおそれがあります。（「電源を入れる／切る」14ページ）

1 **電池ぶたを手前に引いて、持ち上げます。**



2 **図のように極性（＋、－）を間違わないように単4形乾電池を入れ、電池ぶたを閉めます。**



お使いになる前に（つづき）

電池残量表示

電池残量は、液晶パネルの乾電池残量表示で確認してください。

良好状態
↓
↓
電池残量少ない

【液晶画面】

※ 電池残量が少ないときや、電池切れのときは、新しい単4形アルカリ乾電池と交換してください。

注意

- 使いきった乾電池は、各自治体の条例に従って処分してください。
- 録音中、録音一時停止中、再生中、消去中に乾電池を抜くと、録音内容は保存されません。また、録音内容が壊れる可能性がありますので操作中に乾電池を抜かないでください。
- 付属の乾電池はモニター用ですので、寿命が短いことがあります。

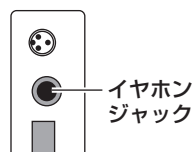
ちょっとこれを！

- 連続再生時間……約13時間
  ※ ミュージックモードでMP3ファイル（128kbps）を連続再生（音量：17）したとき。

イヤホンを使用する

本体の左側面にあるイヤホンジャックに付属のネックストラップ付きイヤホンを差し込んでください。

【左側面】



注意

- 首が絞まりすぎないよう、ネックストラップの取り扱いにはご注意ください。

操作前に知っておいてほしいこと

ここでは、各部の基本的な使いかたを説明します。本機を使用する前に、必ずお読みください。

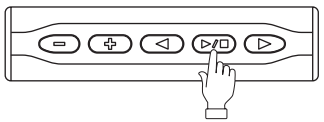
電源を入れる／切る

電源を入れる

「電源/再生/一時停止/停止（►/■）」ボタンを押すと、電源が入ります。

● 液晶画面に「Hitachi Living Systems」と表示された後、ミュージックモードの画面が表示されます。

【上面】

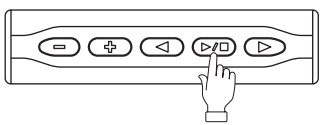


電源を切る

「電源/再生/一時停止/停止（►/■）」ボタン押し続けると、電源が切れます。

● ミュージックモードの場合は、再生を停止した状態（■表示中）で、操作を行ってください。

【上面】



※ 電源が入った停止状態で、一定時間操作しないで放置しておくと、自動的に電源が切れるパワーセーブ機能があります。（「各メニューの設定項目」42ページ）

操作前に知っておいてほしいこと（つづき）

モードを切り換える

電源を入れると、ミュージックモードが表示されます。ミュージックモードの他に5つのモードがあります。

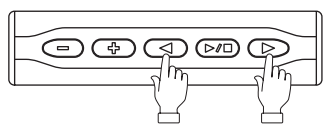
1 **停止（■）状態で「ホールド・録音モード切換」スイッチを （ホールドオフ）に合わせた後、「モード」ボタンを押して、「メインメニュー」画面を表示します。**

【右側面】

● 「メインメニュー」または各モードのメニュー表示後、約10秒間操作しないままにしておくと、元の画面に戻ります。

2 **「早送り」「早戻し」ボタンを押して、選択するメニューを反転表示します。**

【上面】



ミュージック：
MP3/WMAファイルを再生します。

ボイス：
音声を録音／再生します。

FMラジオ：
FMラジオを受信／録音します。

設定：
再生・画面・電源に関する設定を変更します。

消去：
ファイルを消去します。

インフォ：
製品の情報、メモリーの空き容量を調べます。

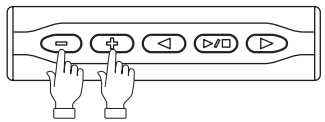
3 **「モード」ボタンを押して、選んだモードを表示します。**

● ボイス、設定、消去モードは、メニューを選択する画面が表示されます。

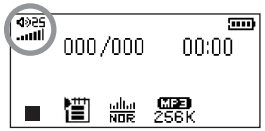
音量を調節する

再生または停止中に「音量 +」または「音量 −」ボタンを押すと、下の画面を表示して、音量（00 ～ 31）が変わります。

【上面】



【液晶画面】



※ ミュージックモードの画面例です。

音量00　選択時

音量25　選択時

注意

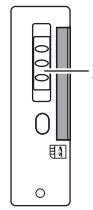
● 音量の調節は、音量を確認しながらおこなってください。特にイヤホンを装着したままの場合、耳を痛める事がありますので、ご注意ください。

ホールド機能

「ホールド・録音モード切換」スイッチを切り換えると、下の画面を表示し、ホールド機能をオン／オフにします。
ホールド機能をオンにすると、ボタン操作ができない状態になります。

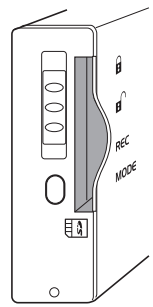
※ 録音モードについては、「すばやく録音を開始する」30ページをご覧ください。）

【右側面】



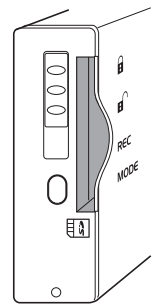
ホールド　オフ
選択時

の位置にスイッチを合わせてください

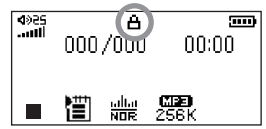


ホールド　オン
選択時

の位置にスイッチを合わせてください



【液晶画面】



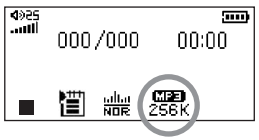
ホールドオン
選択時

操作前に知っておいてほしいこと（つづき）

再生できるデータ

MP3ファイルとWMAファイルを再生できます。
ミュージックモードでは、以下のように表示されます。アイコンの上部はフォーマットの種類、下部はビットレートを示しています。

【液晶画面】



MP3

WMA

MP3

以下の条件のMP3ファイルを再生できます。

- MPEG-1 Audio Layer-3
  - ビットレート　：32～320kbps
  - サンプリング周波数　：44.1kHz

※ 曲情報は、ID3v1、ID3v2タグ形式に対応しています。
（ファイル名、アーティスト、タイトル、アルバム、トラック、年、コメント、ジャンル、歌詞など）

WMA

以下の条件のWMAファイルを再生できます。

- Windows Media Audio
  - ビットレート　：48～192kbps
  - サンプリング周波数　：44.1kHz

注意

- MP3/WMAで記録されたデータは、以上の条件のファイルを再生できますが、ビットレートがMP3の場合128kbps、WMAの場合64kbps以上のものを推奨致します。このビットレート以下にすると、音がわれて聞こえることがあります。

パソコンに接続する

Windows XP/2000/Meの場合

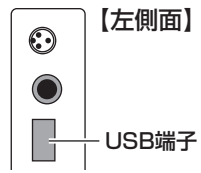
Windows XP/2000/Meをご使用の場合、付属のUSBケーブルでパソコンと本体をつなぐだけで、内蔵メモリーとSDメモリーカードを認識できます。SDメモリーカードを認識する場合は、USBケーブルをつなぐ前に、SDメモリーカードを本体に取り付けてください。

注意

- Windows 2000（サービスパック1/2）をお使いの場合は、内蔵メモリーのみ認識します。
- パソコンに接続する前に、付属の保護カードは必ず取りはずしてください。

1 **パソコンを起動します。**

2 **本体の電源を入れてから、付属のUSBケーブルを、本体とパソコンのUSB端子に接続します。（「各部のなまえ」11ページ）**



3 **確認するには、「スタート」をクリックして、「マイコンピュータ」をクリックします。（Windows 2000/Meの場合：マイコンピュータのショートカットアイコンをダブルクリックします。）**

※ 内蔵メモリーとSDメモリーカードは、「リムーバルディスク」として表示されます。内蔵メモリーとSDメモリーカードが両方ある場合は、若いアルファベットの「リムーバルディスク」に内蔵メモリーが割り当てられます。

取りはずしかた

デスクトップの右下にある「ハードウェアの安全な取り外し」のアイコンをダブルクリックして、該当するドライブを停止します。「安全に取り外すことができます」というメッセージが表示されたら、取りはずします。

注意

- 正しい取りはずしかたをしないと、本体やパソコン、データに重大な損害を受けることがあります。必ず正しい取り外しかたでUSBケーブルを取りはずしてください。

MP3/WMAを転送する

内蔵メモリーまたはSDメモリーカード（別売）にファイルを転送します。

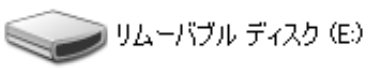
Windows XP/2000/Meの場合

パソコンと本体を接続する方法は、「パソコンに接続する」19ページをご覧ください。

1 **「スタート」をクリックして、「マイコンピュータ」をクリックします。（Windows 2000/Meの場合：マイコンピュータのショートカットアイコンをダブルクリックします。）**

※ 内蔵メモリーとSDメモリーカードは、「リムーバルディスク」として表示されます。内蔵メモリーとSDメモリーカードが両方ある場合は、若いアルファベットの「リムーバルディスク」に内蔵メモリーが割り当てられます。

2 **「リムーバルディスク」をダブルクリックして、開きます。**



3 **MP3またはWMAファイルを「リムーバルディスク」にドラッグ&ドロップします。**

注意

- 内蔵メモリーまたはSDメモリーカード内にあるフォルダ情報は無視します。フォルダについては、「フォルダについて」22ページをご覧ください。
- 内蔵メモリーまたはSDメモリーカードへファイルを転送中に、USBケーブルを取りはずさないでください。データが破損する恐れがあります。

ファイルを消去するには

「リムーバルディスク」から消去するファイルを、ゴミ箱アイコンにドラッグ&ドロップします。ゴミ箱アイコンを右クリックして、「ゴミ箱を空にする」をクリックします。

フォーマットする

内蔵メモリーまたはSDメモリーカードに記録されているデータを完全に消去して、初期状態にします。フォーマットは、必ずWindowsで行ってください。**Macintoshで内蔵メモリーをフォーマットすると電源が入らなくなります。**

パソコンと本体を接続する方法は、「パソコンに接続する」19ページをご覧ください。

1 **「スタート」をクリックして、「マイコンピュータ」をダブルクリックします。（Windows 2000/Meの場合：マイコンピュータのショートカットアイコンをダブルクリックします。）**

※ 内蔵メモリーとSDメモリーカードは、「リムーバルディスク」として表示されます。両方ある場合は、若いアルファベットの「リムーバルディスク」に、内蔵メモリーが割り当てられます。

2 **内蔵メモリーまたはSDメモリーカードの「リムーバルディスク」を右クリックして、「フォーマット」をクリックします。**

内蔵メモリー

「ファイルシステム」は、「FAT32」または「FAT」を選んでください。

SDメモリーカード

「ファイルシステム」は、「FAT」を選んでください。

ちょっとこれを！

「FAT」または「FAT32」以外のフォーマットに変えてしまったとき

電源が入らなくなります。Windowsで上記の手順に従って、「FAT」または「FAT32」のフォーマットに戻してください。

「VOICE」または「FM」フォルダを消去してしまったとき

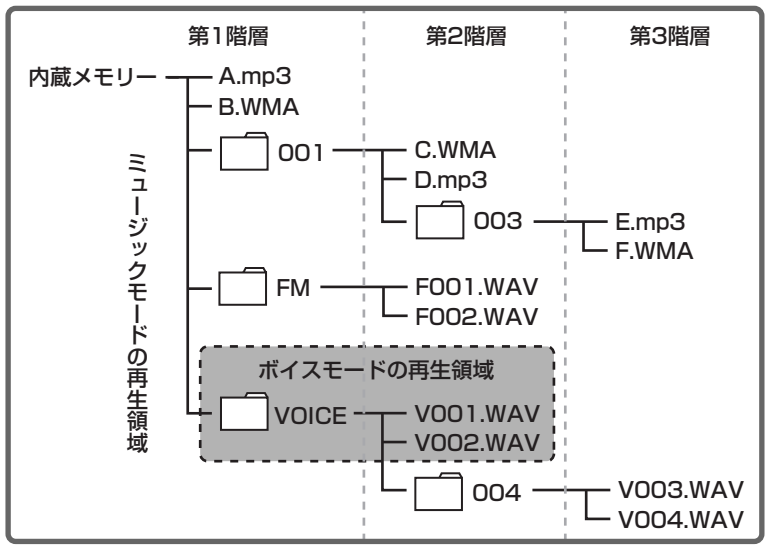
録音を開始すると同時に、フォルダが自動で作成されます。ただし、フォルダに入っていたファイルは復元しません。

フォルダについて

内蔵メモリー

内蔵メモリー内にあるフォルダ情報は無視されます。フォルダ内にある音楽ファイルは再生できますが、フォルダを指定して再生したり、曲順を指定することはできません。

※ 内蔵メモリーを優先して、表示/再生します。



内蔵メモリー内の音楽ファイルを再生するには

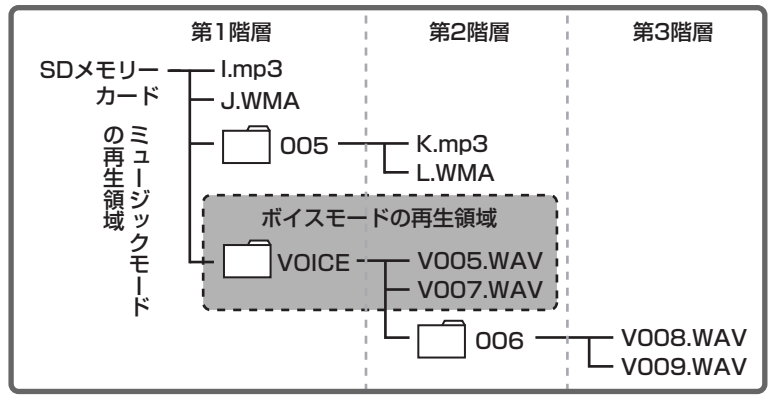
- 内蔵メモリーに保存したファイル（「VOICE」フォルダ内のファイルを除く）は、ミュージックモードで再生します。FM放送を録音したWAVファイルもミュージックモードで再生します。ミュージックモードについては、「MP3/WMAを聞く」25ページをご覧ください。
- 「VOICE」フォルダに入れたファイルは、ボイスモードで再生します。（「録音した音声を再生・一時停止・停止する」31ページ）
- ボイスモードでは、「VOICE」フォルダに直接入れたファイルのみ、再生できます。上の図のように、「VOICE」フォルダの中にフォルダを作ると、ミュージックモードで表示/再生されます。

フォルダについて（つづき）

SDメモリーカード

SDメモリーカード内にあるフォルダ情報は無視されます。フォルダ内にある音楽ファイルは再生できますが、フォルダを指定して再生したり、曲順を指定することはできません。

※ 内蔵メモリーを優先して、表示/再生します。



SDメモリーカード内の音楽ファイルを再生するには

- SDメモリーカードに保存したファイル（「VOICE」フォルダ内のファイルを除く）は、ミュージックモードで再生します。FM放送を録音したWAVファイルもミュージックモードで再生します。ミュージックモードについては、「MP3/WMAを聞く」25ページをご覧ください。
- SDメモリーカードに保存したファイルは、内蔵メモリーに保存されているファイルの後に表示/再生されます。
- SDメモリーカードに音声を録音するには、「レコーディング設定」メニューの「メモリー選択」で「SD」を選んでください（「レコーディング設定メニューについて」32ページ）。詳しい操作手順は、「レコーディング設定を変更する」33ページをご覧ください。
- 「VOICE」フォルダに入れたファイルは、ボイスモードで再生します。（「録音した音声を再生・一時停止・停止する」31ページ）
- ボイスモードでは、「VOICE」フォルダに直接入れたファイルのみ、再生できます。上の図のように、「VOICE」フォルダの中にフォルダを作ると、ミュージックモードで表示/再生されます。

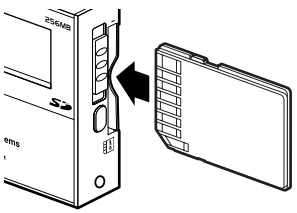
SDメモリーカードの取り付け・取りはずし

取り付け／取りはずしかた

SDメモリーカードを取り付ける／取りはずすときは、本体の電源を切ってから行ってください。（「電源を入れる／切る」14ページ）

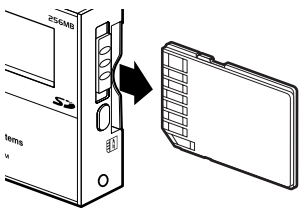
取り付け

矢印方向にSDメモリーカードを、「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込みます。



取りはずし

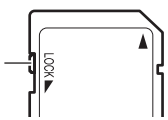
「カチッ」と音がするまで押すと、SDメモリーカードが取りだせる状態になります。
矢印方向にSDメモリーカードを引っ張って、取りはずします。



書き込み禁止スイッチ

大切なデータを保護するために、書き込み禁止スイッチを「LOCK」にします。新たにSDメモリーカードにデータを転送／消去したり、編集するときは、解除してください。

【SDメモリーカード】



注意

- SDメモリーカードを使用しないときは、ホコリやゴミが入らないように、付属の保護カードを差し込んでください。
- SDメモリーカード以外を差し込まない。
- 電源が入った状態で、SDメモリーカードを脱着しない。
- 無理な力を加えたり、乱暴に扱わない。また、静電気を帯びていると、認識されなかったり、本体が誤動作することがあります。
- カードを使用中、誤動作や故障によって、保存内容が失われる場合があります。保存されたデータの損失については、故障や損害の内容および原因にかかわらず、当社では一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。
- カードに異常があると思われる場合は、フォーマットし直すことによって、正常に動作することがあります。（そのとき保存されているデータは消去されます。）
- 金属端子部を手や金属で触らないでください。金属端子部が汚れているときは、乾いた布などで、軽く拭き取ってください。

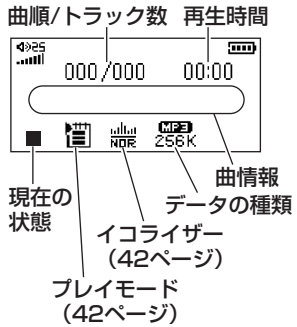
MP3/WMAを聞く

MP3/WMAの再生は、ミュージックモードで行います。（「モードを切り換える」15ページ）

曲情報

ミュージックモードを表示すると、液晶画面に先頭の曲が表示されます。（画面の右から左へスクロールします。）

【液晶画面】



※ イコライザー・プレイモードの変更は、設定モードで行います。詳しくは、「設定モードについて」40ページをご覧ください。

曲順

内蔵メモリーを優先します。
ファイル名によって決まります。

曲順：記号 → 数字 → 英字 → ひらがな →カタカナ → 漢字

曲情報

MP3/WMAファイルに含まれています。
（ファイル名、アーティスト、タイトル、アルバム、トラック、年、コメント、ジャンル、歌詞など。表示される項目は、ファイルによって異なります。）
曲情報のあるファイルは、曲情報を液晶画面に表示して、ファイル名を表示しません。曲情報のないファイルは、ファイル名が表示されます。

※ 本製品では、ファイル名または曲情報を編集できません。変更するときは、パソコンなどに転送して行ってください。（著作権保護のためにプロテクトされているファイルなど、変更できないファイルがあります。）

MP3/WMAを聞く（つづき）

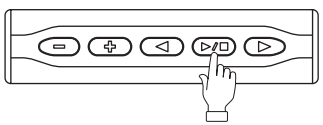
再生（►）・一時停止（II）・停止（■）する

再生・一時停止・停止は、「電源/再生/一時停止/停止（►/■）」ボタンで行います。現在の状態は、液晶画面に記号（►、II、■）で表示されます。

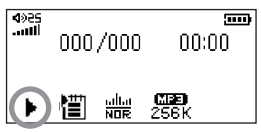
再生（►）する

一時停止（II）または停止（■）中に、「電源/再生/一時停止/停止（►/■）」ボタンを押します。

【上面】



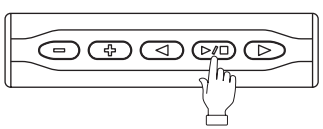
【液晶画面】



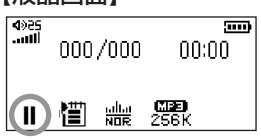
一時停止（II）する

再生（►）中に、「電源/再生/一時停止/停止（►/■）」ボタンを押します。

【上面】



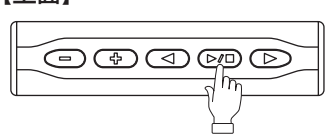
【液晶画面】



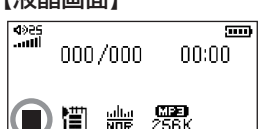
停止（■）する

再生（►）または一時停止（II）中に、液晶画面の表示が「■」に変わるまで、「電源/再生/一時停止/停止（►/■）」ボタンを押し続けます。

【上面】



【液晶画面】



注意

- 停止（■）中に「電源/再生/一時停止/停止（►/■）」を押し続けると、電源が切れます。

MP3/WMAを聞く（つづき）

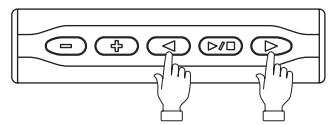
ファイル戻し、ファイル送りをする

ファイルを戻したり、送ったりして再生する曲を表示します。

1つずつ、ファイル戻し、ファイル送りをする

再生（►）、一時停止（II）、停止（■）中に、「早戻し」または「早送り」ボタンを押すと、1つ前／後ろのファイルを表示します。

【上面】



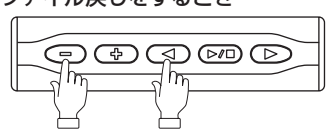
- 一時停止（II）中に押すと、1つ前／後ろのファイルを表示して、再生を開始します。

すばやく、ファイル戻し、ファイル送りをする

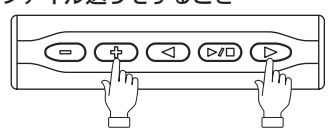
停止（■）中に、「早戻し」ボタンと「音量 −」ボタン、または「早送り」ボタンと「音量 +」ボタンを押すと、トラック数表示のみが通常より早く移動して、すばやくファイル戻し／送りができます。ボタンを離すと、選んだ曲情報が表示されます。

【上面】

ファイル戻しをするとき



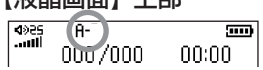
ファイル送りをするとき



A-Bリピート（始点と終点を指定して繰り返し再生）

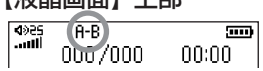
1 再生（►）中に、「モード」ボタンを押すと、液晶画面に「A」が表示されて、繰り返し再生の始点が設定されます。

【液晶画面】上部



2 繰り返し再生の終点で「モード」ボタンを押すと、液晶画面に「A-B」が表示されて、繰り返し再生が開始されます。

【液晶画面】上部



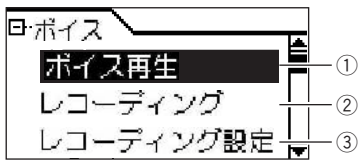
3 再度「モード」ボタン押すか、再生を停止すると、設定を解除します。

声を録音/再生する

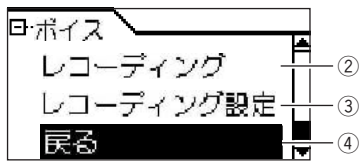
ボイスモードについて

ボイスモードは、3つのメニューがあります。
ボイスモードに切り換えると、以下の画面が表示されます。

【液晶画面】



次画面



① ボイス再生　　：録音した音声を再生します。
② レコーディング　：音声を録音します。
③ レコーディング設定：録音の設定を変更します。
④ 戻る　　：「モード」ボタンを押すと、メインメニューに戻ります。

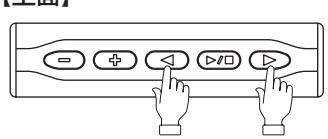
ボイスモードのメニューを選ぶ

1 **停止（■）状態で、「モード」ボタンを押して、メインメニューを表示します。（「モードを切り換える」15ページ）**

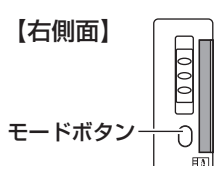
2 **ボイスモードを選んだ後、「モード」ボタンを押して、ボイスモードのメニューを表示します。（「モードを切り換える」15ページ）**

3 **「早戻し」「早送り」ボタンを押して、選択するボイスモードのメニューを反転させた後、「モード」ボタンを押します。**
選択したメニューの画面が表示されます。

【上面】



【右側面】



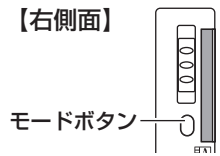
声を録音/再生する（つづき）

録音を始める前に、必ずためしに録音して正常に録音されることを確認してください。

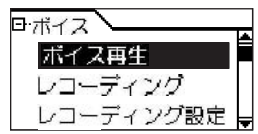
レコーディング設定を確認する

1 **ボイスモードを選んで、「モード」ボタンを押して、ボイスモードのメニューを表示します。（「モードを切り換える」15ページ）**

【右側面】



【液晶画面】



2 **「早送り」ボタンを押して、「レコーディング設定」メニューを反転させた後、「モード」ボタンを押します。**
「レコーディング設定」画面が表示されます。「戻る」を反転させて、「モード」ボタンを押すと、ボイスモードに戻ります。

■レコーディング設定（「レコーディング設定を変更する」33ページ）

レコーディング設定には、以下の5つの項目があります。

マイク
ENC　　：データ形式（IMADPCM／MSADPCM／PCM）
モノラル
メモリー選択　：作成したファイルの保存先（内蔵メモリー／SD）
サンプリング　：WAVのサンプリング周波数（8000／11025／16000／22050／32000／44100／48000Hz）

※ メニューの詳細については、「レコーディング設定メニューについて」32ページをご覧ください。

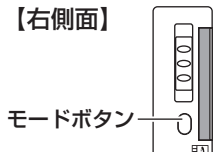
初期設定では、以下のようになっています。
ENC　：IMADPCM　　**サンプリング**：44100Hz
メモリー選択：内蔵メモリー

声を録音/再生する（つづき）

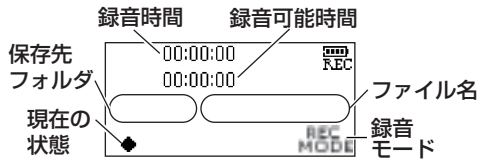
録音を開始する

ボイスモードの「レコーディング」を反転表示させて、「モード」ボタンを押すと、録音（●）を開始します。（「ボイスモードのメニューを選ぶ」28ページ）

【右側面】



【液晶画面】

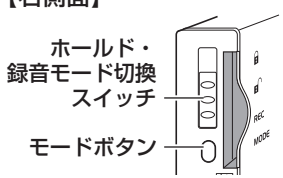


- 録音した音声は、WAV形式で保存されます。
- ファイル名は自動で付けられます。録音した順番に、「V001」「V002」「V003」と数字が増えます。ファイル名は、本体で編集できません。ファイル名を変更するときは、パソコンなどに転送して行ってください。
- 録音した音声は「VOICE」フォルダに保存されます。「VOICE」フォルダがない場合は、録音を開始すると同時に、フォルダが自動で作成されます。
- 録音中にメモリー容量がいっぱいになると、録音を終了して保存します。

すばやく録音を開始する

「ホールド・録音モード切換」スイッチを最も下（背面の「REC」）まで下げると、画面右下に「REC MODE」と表示されます。この状態で「モード」ボタンを押すと、録音（●）を開始します。

【右側面】

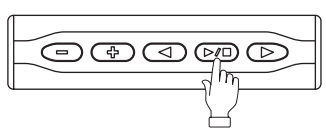


録音を一時停止・終了する

録音を一時停止する

「電源/再生/一時停止/停止（►/■）」ボタンを押すと、一時停止（II）します。もう一度「電源/再生/一時停止/停止（►/■）」ボタンを押すと、同じファイルの最後から録音を再開（●）します。

【上面】



録音を終了する

録音（●）または一時停止（●II）中に、「モード」ボタンを押すと、録音したWAVファイルを保存します。

声を録音/再生する（つづき）

録音した音声を再生・一時停止・停止する

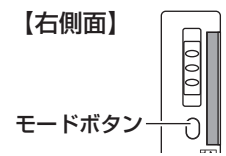
録音したWAVファイルの再生は、ボイスモードの「ボイス再生」メニューで行います。ファイルを再生・一時停止・停止する手順は、MP3ファイルを再生する手順と同じです。（「再生（►）・一時停止（II）・停止（■）する」26ページ）

再生（►）する

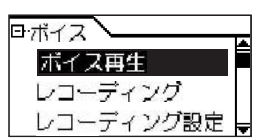
1 ボイスモードの「ボイス再生」メニューを反転表示させて、「モード」ボタンを押すと、「ボイス再生」画面を表示します。（「ボイスモードのメニューを選ぶ」28ページ）

「ボイス」画面を表示すると、液晶画面に先頭の曲が表示されます。（画面の右から左へスクロールします。）

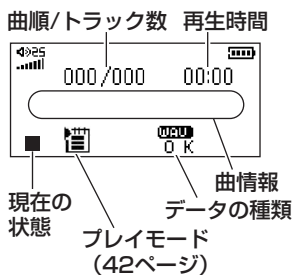
【右側面】



【液晶画面】



【液晶画面】



2 一時停止（II）または停止（■）中に、「電源/再生/一時停止/停止（►/■）」ボタンを押します。

一時停止（II）する

再生（►）中に、「電源/再生/一時停止/停止（►/■）」ボタンを押します。

停止（■）する

再生（►）または一時停止（II）中に、液晶画面の表示が「■」に変わるまで、「電源/再生/一時停止/停止（►/■）」ボタンを押し続けます。

レコーディング設定メニューについて

「レコーディング設定」メニューには、保存先を指定する「メモリー選択」や音質を決める「サンプリング」など、5つの項目があります。

マイク

内蔵マイクが選ばれた状態です。変更できません。

ENC（エンコーディング形式）

保存するデータ形式を、以下のメニューから選びます。

- **IMADPCM**
  もっとも音質が良く、ファイルのデータ使用量も大きくなります。
- **MSADPCM**
  「PCM」より音質が良く、ファイルのデータ使用量も大きくなります。
- **PCM**
  音質は他の設定より劣りますが、データ使用量が少なく、長時間録音できます。

モノラル

モノラルが選ばれた状態です。変更できません。

メモリー選択

録音したデータの保存先を、以下のメニューから選びます。

- **内蔵メモリー**
  内蔵メモリーに、録音したデータを保存します。
- **SD（SDメモリーカード）**
  SDメモリーカードに、録音したデータを保存します。

サンプリング（サンプリング周波数）

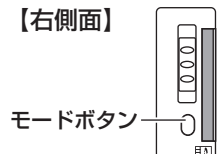
サンプリング周波数を、以下のメニューから選びます。

- 8000Hz
- 16000Hz
- 32000Hz
- 48000Hz
- 11025Hz
- 22050Hz
- 44100Hz（音楽CDと同程度の音質）

レコーディング設定を変更する

1 ボイスモードを選んで、「モード」ボタンを押した後、ボイスモードのメニューを表示します。（「モードを切り換える」15ページ）

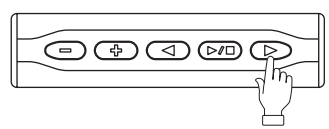
【右側面】



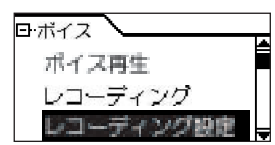
2 「早送り」ボタンを押して、「レコーディング設定」メニューを反転させた後、「モード」ボタンを押します。

「レコーディング設定」画面が表示されます。「戻る」を反転させて、「モード」ボタンを押すと、ボイスモードに戻ります。

【上面】

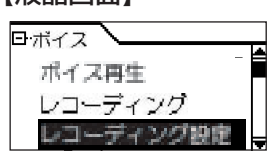


【液晶画面】



3 「早送り」ボタンを押して、変更する項目を選んだ後、「モード」ボタンを押して、指定する設定を反転表示します。（「モードを切り換える」15ページ）

【液晶画面】



4 変更が終了したら、「早送り」ボタンを押した後、「戻る」を反転させてボタンを押して、ボイスモードに戻ります。

FMラジオを聞く

FMラジオモードについて

FMラジオモードには、4つのメニューがあります。
FMラジオモードに切り換えると、以下の画面が表示されます。

【液晶画面】

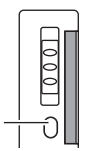
※ FMラジオモードでメニューを切り換えるときは、画面が変わらずに、選択中メニューの表示だけが変わります。

① **ラジオ**　：プリセットされたラジオ局を選んで聞きます。
② **選局**　：手動または自動で選局したラジオ局を聞きます。
③ **プリセット**　：選局した周波数を記録します。
④ **レコーディング**：ラジオの音声を録音します。
⑤ **戻る**　：「電源/再生/一時停止/停止（►/■）」ボタンを押すと、ミュージックメニューに戻ります。

FMラジオモードのメニューを選ぶ

1 **停止（■）状態で、「モード」ボタンを押して、メインメニューを表示します。（「モードを切り換える」15ページ）**

【右側面】



2 **FMラジオモードを選んだ後、「モード」ボタンを押して、FMラジオモードを表示します。（「モードを切り換える」15ページ）**

3 **操作するメニューが表示されるまで、繰り返し「モード」ボタンを押します。**
「モード」ボタンを押すたびに、以下のように切り換わります。
ラジオ → 選局 → プリセット → レコーディング → 戻る

【液晶画面】

FMラジオを聞く（つづき）

FMラジオを聞く

FMラジオモードに切り換えると、「ラジオ」メニューが表示されて、ラジオが聞けます。

注意

● お買い上げいただいた後、初めてラジオモードに合わせたときは、自動でオートプリセット（37ページ）を開始します。

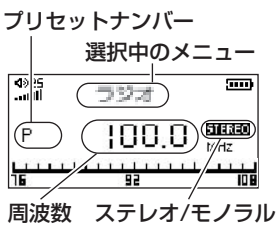
※ ネックストラップ付イヤホンはアンテナを兼ねています。ラジオをお聞きになるときは、イヤホンジャックに差し込んでから操作してください。

1 **停止（■）状態で、「モード」ボタンを押して、メインメニューを表示します。（「モードを切り換える」15ページ）**

2 **FMラジオモードを選んだ後、「モード」ボタンを押して、FMラジオモードを表示します。（「モードを切り換える」15ページ）**

FMラジオモードを表示すると、「ラジオ」メニューが表示されます。画面には、周波数とステレオ（STEREO）/モノラル（MONO）、プリセットナンバーが表示されます。

【液晶画面】



周波数を調節してラジオ局を選局するには、メニューを「選局」に切り換えてから行ってください。（「FMラジオモードのメニューを選ぶ」34ページ）
「ラジオ」メニューでは、プリセットしたラジオ局のみ選局できます。

FMラジオを聞く（つづき）

選局する

ここでは、ラジオ局を選局する方法を説明します。

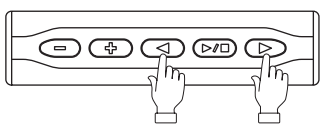
注意

- ネックストラップ付イヤホンはアンテナを兼ねています。選局を始める前に必ずイヤホンジャックに差し込んでください。
- 電波状況など周囲の環境により、電波を受信しにくいことがあります。

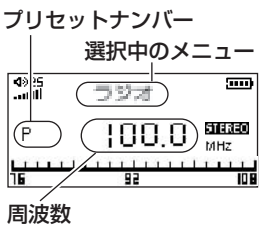
プリセットされたラジオ局を選ぶ

「ラジオ」メニューで「早戻し」または「早送り」ボタンを押すと、プリセットの番号が前後に移動して、プリセットされた周波数を表示します。（「プリセットする」38ページ）

【上面】



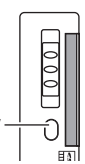
【液晶画面】



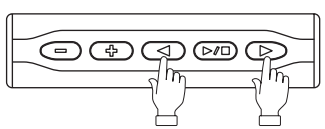
手動でラジオ局を選ぶ

「ラジオ」メニューで「モード」ボタンを1度押して「選局」メニューを表示した後、「早戻し」または「早送り」ボタンを押すと、周波数（単位：0.1MHz）が前後に移動します。（「モードを切り換える」15ページ）

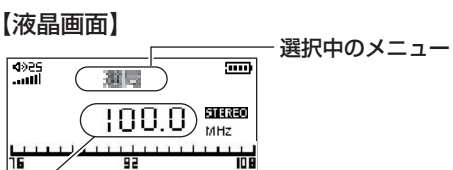
【右側面】



【上面】



【液晶画面】

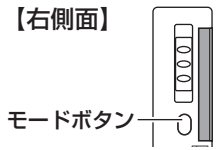


FMラジオを聞く（つづき）

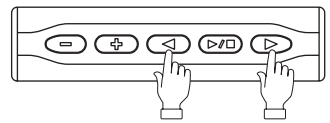
自動でラジオ局を選ぶ(オートスキャン)

「ラジオ」メニューで「モード」ボタンを1度押して「選局」メニューを表示した後、「早戻し」または「早送り」ボタンを押し続けると、自動で周波数が移動してラジオ放送を受信した周波数で止まります。

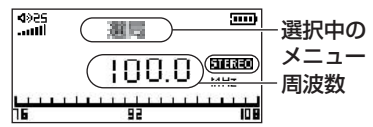
【右側面】



【上面】



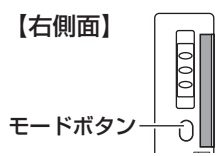
【液晶画面】



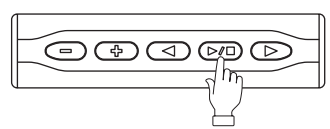
自動でラジオ局を選んで、プリセットする（オートプリセット）

「ラジオ」メニューで「モード」ボタンを1度押して「選局」メニューを表示した後、「電源/再生/一時停止/停止（►/■）」ボタンを押すと周波数が移動して、ラジオ局を受信した周波数をプリセットします。すべての周波数をスキャンすると自動で終了します。

【右側面】

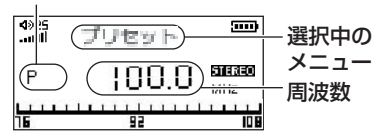


【上面】



【液晶画面】

プリセットナンバー



注意

- オートプリセットすると、すでに記録されているプリセットは上書きされます。

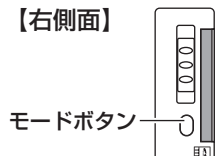
FMラジオを聞く（つづき）

プリセットする

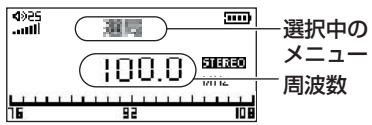
選局したラジオ局（周波数）をプリセットしておくと、「ラジオ」メニューで表示されます。最大30局までプリセットできます。

1 「ラジオ」メニューで「モード」ボタンを1度押して、「選局」メニューを表示します。（「FMラジオモードのメニューを選ぶ」34ページ）

【右側面】

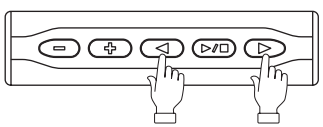


【液晶画面】



2 「早戻し」または「早送り」ボタンを押して、プリセットする周波数を表示します。（「手動でラジオ局を選ぶ」36ページ）

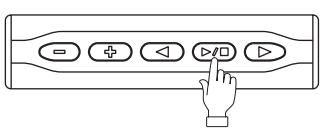
【上面】



3 「モード」ボタンを1度押して、「プリセット」メニューを表示して、「電源/再生/一時停止/停止（►/■）」ボタンを押すと、プリセットが完了して、「ラジオ」メニューに戻ります。

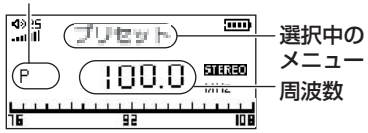
周波数表示の左横にプリセット番号（表示例：p01）が表示されます。

【上面】



【液晶画面】

プリセットナンバー



FMラジオを聞く（つづき）

ラジオの音声を録音する

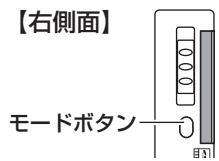
ラジオの音声をWAVファイルとして保存します。

※ 録音した音声は、ミュージックモードで再生できます。

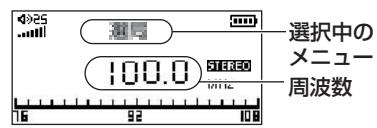
1 「ラジオ」メニューで録音するラジオ局の周波数を表示します。（「プリセットされたラジオ局を選ぶ」36ページ、「手動でラジオ局を選ぶ」36ページ、「自動でラジオ局を選ぶ（オートスキャン）」37ページ）

2 「ラジオ」メニューで「モード」ボタンを3度押して、「レコーディング」メニューを表示します。（「FMラジオモードのメニューを選ぶ」34ページ）

【右側面】

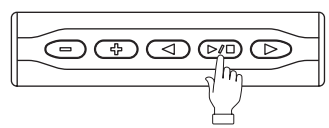


【液晶画面】

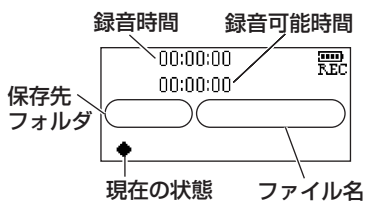


3 「電源/再生/一時停止/停止（►/■）」ボタンを押すと、録音を開始します。

【上面】



【液晶画面】



● 録音した音声は「FM」フォルダに保存されます。「FM」フォルダがない場合は、録音を開始すると同時に、フォルダが自動で作成されます。

4 もう一度「電源/再生/一時停止/停止（►/■）」ボタンを押すと、録音を停止します。「モード」ボタンを押すと、「レコーディング」メニューに戻ります。

● ファイル名は自動で付けられます。録音した順番に、「F001」「F002」「F003」と数字が増えます。ファイル名は、本体で編集できません。ファイル名を変更するときは、パソコンなどに転送して行ってください。

● 録音中にメモリー容量がいっぱいになると、録音を終了して保存します。

設定を変更する

設定モードについて

設定モードには、6つのメニューがあります。
設定モードに切り換えると、以下の画面が表示されます。

【液晶画面】

【液晶画面】

① **EQ設定**　：音質を変えます。
② **プレイモード**　：曲順、リピート設定を変えます。
③ **コントラスト**　：画面の明るさを変えます。
④ **バックライト**　：照明点灯時間を変えます。
⑤ **パワーセーブ**　：電源を切るまでの時間を変えます。
⑥ **言語**　：画面に表示する言語を変えます。
⑦ **戻る**　：「電源/再生/一時停止/停止（►/■）」ボタンを押すとメインメニューに戻ります。

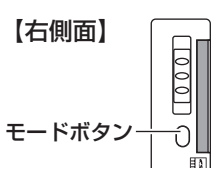
設定モードのメニューを選ぶ

1 **停止（■）状態で、「モード」ボタンを押して、メインメニューを表示します。（「モードを切り換える」15ページ）**

2 **設定モードを選んだ後、「モード」ボタンを押して、設定モードを表示します。（「モードを切り換える」15ページ）**

3 **操作するメニューが表示されるまで、繰り返し「早戻し」または「早送り」ボタンを押します。**
「モード」ボタンを押すたびに、以下のように切り換わります。
EQ設定 → プレイモード → コントラスト → バックライト → パワーセーブ → 言語 → 戻る

【右側面】



設定を変更する（つづき）

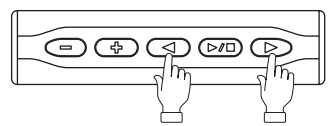
設定を変更する

設定を変更するときは、以下の手順で操作します。

1 **設定モードで操作するメニューを表示した後、「モード」ボタンを押して、設定を変えるメニューを表示します。（「設定モードのメニューを選ぶ」40ページ）**

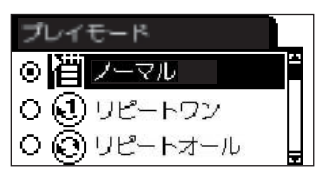
2 **「早戻し」または「早送り」ボタンを押して、設定を変更します。**
変更した設定内容は、液晶画面に表示されます。

【上面】

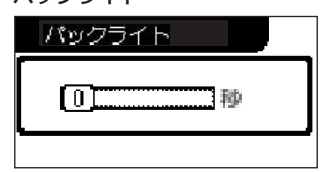


●画面例

【液晶画面】
プレイモード



【液晶画面】
バックライト



各メニューの設定項目

各メニューに表示される設定項目を説明します。

EQ設定

EQ設定では、以下のメニューが表示されます。
再生する曲に合わせて、音質を選べます。

クラシック
ポップ
バス
ノーマル
ロック
ジャズ

プレイモード

プレイモードでは、以下のメニューが表示されます。
リピート再生やランダム再生を設定できます。

ノーマル ：繰り返し再生、曲順の変更をしません。
リピートワン ：1曲のみ繰り返し再生します。
リピートオール ：全トラックを繰り返し再生します。
ランダム ：曲順を変えて再生します。
ランダム&リピート ：曲順を変えて、繰り返し再生します。

コントラスト

コントラストは、画面の色の濃さを11段階（0～10）に設定できます。数字が小さいほどコントラストが弱くなり、大きいほど強くなります。

バックライト

バックライトが消灯するまでの時間を選べます。最短「0」（点灯なし）から最長「45」秒まで、5秒ごとに設定できます。
バックライトはボタンを押すと、点灯します。ここで設定する時間は最後のボタン操作からの経過時間です。

設定を変更する（つづき）

パワーセーブ

パワーセーブは、停止状態になってから一定時間経過後に、自動で電源を切る機能です。電源の消し忘れなどを防止します。再生中や録音中、ラジオ受信中は、この機能は働きません。
パワーセーブが働くまでの時間を選べます。最短「オフ」（パワーセーブ機能停止）から最長「30」分まで、4つの設定から選べます。
バックライトはボタンを押すと、点灯します。ここで設定する時間は最後のボタン操作からの経過時間です。

言語

液晶画面に表示する言語を選べます。

英語 ：英語で表示します
日本語 ：日本語で表示します。
中国語&簡体 ：中国語（簡体字）で表示します。

お買い上げ時の設定

お買い上げいただいた直後は、以下のように設定されてます。

EQ設定 ：ノーマル
プレイモード ：ノーマル
コントラスト ：5
バックライト ：5
パワーセーブ ：オフ
言語 ：日本語

ファイルを消去する

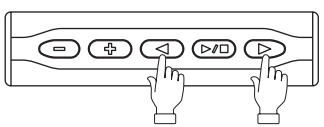
内蔵メモリーとSDメモリーカードに保存しているデータを消去します。

1 停止（■）状態で、「モード」ボタンを押して、メインメニューを表示します。（「モードを切り換える」15ページ）

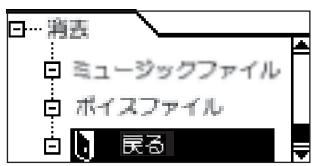
2 消去モードを選んだ後、「モード」ボタンを押して、消去モードを表示します。（「モードを切り換える」15ページ）

3 「早戻し」または「早送り」ボタンを押して、「ミュージックファイル」または「ボイスファイル」メニューを反転表示した後、「モード」ボタンを押します。

【上面】



【液晶画面】

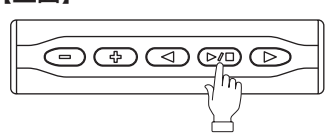


4 「早戻し」または「早送り」ボタンを押して、消去するファイルを表示します。

5 消去するときは、「モード」ボタンを押して、「YES」を反転表示します。（消去しないときは、「NO」を反転表示します。）

6 「電源/再生/一時停止/停止（►/■）」ボタンを押して、ファイルを消去します。（「NO」を選んだときは、元の画面に戻ります。）

【上面】



消去が完了すると、「消去しました」というメッセージが表示されて、元の画面に戻ります。引き続いて、ファイルを消去するときは、手順4～6を繰り返してください。

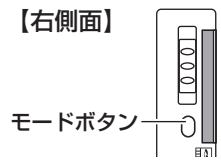
データ使用量・残量を確認する

内蔵メモリーとSDメモリーカードのデータ使用状況を確認します。

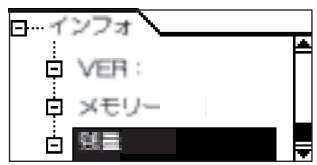
1 停止（■）状態で、「モード」ボタンを押して、メインメニューを表示します。（「モードを切り換える」15ページ）

2 インフォモードを選んだ後、「モード」ボタンを押して、インフォモードを表示します。（「モードを切り換える」15ページ）

【右側面】



【液晶画面】



Ver　　：本体に内蔵されているソフトのバージョン
メモリー：内蔵メモリーのデータ使用量
残量　　：内蔵メモリーに書き込めるデータ量

3 「モード」ボタンを押すと、「Firmware No.」が表示されます。

4 「モード」ボタンを押して、メインメニューに戻ります。（または「電源/再生/一時停止/停止（►/■）」ボタンを押して、ミュージックモードに戻ります。）

故障かな？と思うまえに

販売店にご相談になる前に、下記をお確かめください。
直らない場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。

本機が動作しない

原　因1	乾電池が正しく入っていないか、乾電池切れている。
解決方法	乾電池が正しく入っていることを確認してください。または新しいアルカリ乾電池に替えてください。（12、13ページ）

原　因2	Macintoshでフォーマットし直している。
解決方法	Windowsでフォーマットし直してください。（21ページ）

ボタンを押しても反応しない

原　因1	ホールド機能がオンになっている。
解決方法	ホールド機能をオフにしてください。（17ページ）

原　因2	パソコンと本体をUSBケーブルで接続している。
解決方法	パソコンと本体を接続している間は、操作できません。

音声が聞こえない

原　因1	本体のイヤホンジャックに正しく差し込まれていない。
解決方法	イヤホンのプラグを正しく差し込んでください。（13ページ）

原　因2	音声データ（MP3/WMAファイル）がない。
解決方法	音声データがあるか確認してください。（20、45ページ）

原　因3	音量が最小になっている。
解決方法	「音量 +」または「音量 −」ボタンを押して、音量を調節してください。（16ページ）

故障かな？と思うまえに（つづき）

音がわれる

原　因1	MP3/WMAのビットレート設定値が低い。
解決方法	エンコードまたは録音するときに、MP3/WMAのビットレート設定値を高くしてください。（29ページ）

液晶画面のバックライトが点灯しない

原　因1	バックライトの「点灯時間」が「0」秒になっている。
解決方法	「点灯時間」を5〜45秒に変更してください。（40、41ページ）

録音できない

原　因1	内蔵メモリーまたはSDメモリーカードに保存領域がなくなっている。
解決方法	データ使用量を確認して、ファイルを消去してください。（44、45ページ）

原　因2	外部マイク端子にイヤホンが接続されている。
解決方法	イヤホンを本機から抜いてください。

SDメモリーカードに録音できない

原　因1	SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチが、「LOCK」になっている。
解決方法	SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチを解除してください。（24ページ）

故障かな？と思うまえに（つづき）

本体に挿入したSDメモリーカードを認識できない

原　因1	フォーマットが「FAT32」または「FAT」以外になっている。
解決方法	フォーマットに「FAT32」または「FAT」にしてください。（21ページ）

原　因2	SDメモリーカードの金属端子部が汚れている。
解決方法	乾いた布で軽く拭き取ってください。（24ページ）

原　因3	Windows 2000（サービスパック1/2）を使用している。
解決方法	Windows 2000（サービスパック1/2）をインストールしたパソコンでSDメモリーカードを認識するには、市販のカードリーダーなどをご使用ください。

パソコンで内蔵メモリーまたはSDメモリーカードを認識できない

原　因1	フォーマットが「FAT32」または「FAT」以外になっている。
解決方法	フォーマットに「FAT32」または「FAT」にしてください。（21ページ）

原　因2	付属の専用USBケーブルが正しく差し込まれていない。
解決方法	USBケーブルを差し直してください。（19ページ）

原　因3	USBハブやUSB延長ケーブルを使っている。
解決方法	パソコンのUSB端子に直接USBケーブルを差し直してください。（19ページ）

故障かな？と思うまえに（つづき）

パソコンから内蔵メモリーまたはSDメモリーカードに転送できない

原　因1	付属の専用USBケーブルが正しく差し込まれていない。
解決方法	USBケーブルを差し直してください。（19ページ）

原　因2	内蔵メモリーまたはSDメモリーカードに保存領域がなくなっている。
解決方法	データ使用量を確認して、ファイルを消去してください。（44、45ページ）

原　因3	再生期間やコピー回数などの制限のついた曲は、著作権の意向によって、転送できないことがあります。
解決方法	それぞれの曲に関する設定内容については、配信者にお尋ねください。

原　因4	SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」になっている。
解決方法	SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチを解除してください。（24ページ）

ラジオを受信しにくい

原　因1	ネックストラップ付イヤホンをイヤホンジャックに差し込んでいない。
解決方法	ネックストラップ付イヤホンをイヤホンジャックに差し込んでください。（13ページ）

お手入れについて

お手入れ

柔らかい布でからぶきをしてください。

● ベンジンやアルコール、シンナーなどでふいたりしますと、変質、変色することがありますので使用しないでください。また、殺虫剤もかからないようにご注意ください。

主な仕様

内蔵メモリー　：256MB
ファイルサポート：ファイルタイプ
・MPEG-1 Audio Layer-3
ビットレート：32～320kbps
サンプリング周波数：44.1kHz
・Windows Media Audio
ビットレート：48～192kbps
サンプリング周波数：44.1kHz
録音時間　：連続録音時間　約17時間36分
※ サンプリング周波数を8000Hz、保存先を内蔵メモリーに設定したとき。（ボイスモード）
録再周波数特性：8,000～48,000Hz
出力端子　：・イヤホン3.5φミニ　：インピーダンス8Ω以上
・S/N比　：90dB
内蔵マイク　：・無指向性マイク
FMチューナー　：・FM周波数帯：76.0～108MHz
・S/N比　：60dB
・アンテナ　：イヤホンコード
外部記憶媒体　：SDメモリーカード（8～512M対応）別売
インターフェース：USB 2.0/USB 1.1
表示言語　：日本語・英語・中国語（簡体字）
動作温度　：+5℃～+35℃
定格出力　：20mW（JEITA/DC）
電源　：単4形アルカリ乾電池×1本
最大外形寸法　：幅56.3×高さ45.3×奥行き13.3mm
質量　：約30g（乾電池含まず）
付属品　：基本操作ガイド（1）、USBケーブル（1）ネックストラップ付きイヤホン（1）、単4 形アルカリ乾電池（1）、取扱説明書（保証書付）（1）、保護カード（1）、ポーチ（1）

参考

電池持続時間　：アルカリ乾電池 約13時間（連続再生時間）
※ ミュージックモードでMP3ファイル（128kbps）を連続再生（音量：17）したとき。
※ 連続再生時間は、電池の種類、メーカー、保管状態、使用条件、使用周囲温度などによって変わります。上記の時間はあくまで目安であり、保証するものではありません。

日立単4アルカリ乾電池（LR03）×1使用時

お客様ご相談窓口

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は	商品情報やお取り扱いについてのご相談は
TEL　0120-3121-68	TEL　0120-8802-28
FAX　0120-3121-87	FAX　03-3260-9739

＊フリーダイヤルされますと、お客様の地域を担当するセンターへおつなぎします。

本書および本機の使用により生じた損失、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても当社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。

また商品の色調は、印刷のため異なる場合もあります。あらかじめご了承ください。

索引

あ

イヤホンジャック……11,13
液晶画面……11
音量……16

か

乾電池……6,10,12,13
曲順……25
曲情報……25
言語……43
コントラスト……42

さ

再生一時停止……26,31
再生できるデータ……18
サンプリング周波数……32
設定モード……40

た

データ転送……20
電源……14
電池残量……13

な

ネックストラップ付きイヤホン……10,13

は

バックライト……42
パソコンに接続する……19
パワーセーブ……43
ファイル消去……44
ファイル戻し、送り……27
フォーマット……21
フォルダ……22
プレイモードメニュー……42
ホールド機能……17
ボイスモード……28
保護カード……10

ま

マイク（内蔵マイク）……11
メモリー選択……32
モード切換……15

ら

ランダム再生……42
リピート再生……42
レコーディング設定……32
録音一時停止……30
録音……30

英数字

EQ設定……42
ENC（エンコーディング形式）……32
FMラジオモード……34
MP3……18
USBケーブル……10,19
USB端子……11,19
SDメモリーカード……24
Windows……19,20
WMA……18

メモ

デジタルオーディオプレーヤー保証書 持込修理

保証期間内に取扱説明書、本体ラベル等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、本書記載内容にもとづきお買い上げの販売店が無料修理いたします。
お買い上げの日から下記の期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

形名	HMP-1	※お買い上げ日	保証期間
		平成　年　月　日	本体：1年
※お客様	ご住所 ご芳名	〒　- 様	
※販売店	住所 店名	〒　- TEL	

※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有償修理となります。
   （イ）使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
   （ロ）お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
   （ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
   （ニ）車両、船舶に搭載して使用された場合に生じた故障または損傷。
   （ホ）一般家庭用以外（例えば業務用）に使用されて生じた故障または損傷。
   （ヘ）消耗品を取り替える場合。
   （ト）本書のご提示がない場合。
   （チ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記載がない場合あるいは字句を書き換えられた場合。

（裏面に続く）

2. この商品について出張修理をご希望する場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. 贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には本書記載のご相談窓口にご相談ください。
5. お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。
6. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
7. 本書は日本国内においてのみ有効です。
Effective only in Japan.

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または本書のご相談窓口にお問合せください。
- 保証期間経過後の修理によって使用できる製品は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。
- このデジタルオーディオプレーヤーの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後6年です。
- 補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

株式会社 日立リビングサプライ
〒162-0814 東京都新宿区新小川町6-29（アクロポリス東京）
TEL. 03（3260）9611　FAX. 03（3260）9739

J-0410A